

(山陰道)

はじめに、山陰道についてであります。

平成 28 年度に「福光・浅利道路」が事業化されたことにより、大田市管内すべての区間で着実に整備が進められています。

新年度には、「朝山・大田道路」が開通予定であり、残る区間の早期整備に向け、引き続き関係機関と連携し、国などに強く要望してまいります。

(下水道)

次に、下水道についてであります。

公共下水道など污水处理施設の整備については、快適な生活環境や水環境の保全のため、各処理区と浄化槽整備の着実な事業進捗により、污水处理人口普及率の向上を図ってまいります。

(中心市街地など都市計画)

次に、都市計画についてであります。

急激な人口減少と高齢化が進行する中で、医療・福祉、買い物など日常生活に必要な機能や公共施設がまとまって立地する「コンパクトで利便性の高いまちづくり」を目指し、都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」の策定に取り組み、「大田市都市計画マスタープラン」の見直しを行ってまいります。

「大田市駅周辺東側まちづくり（土地区画整理）事業」については、大田市駅前周辺の活性化に向けた協議検討に併せ、関係団体と一体となって検討を進めてまいります。

また、具体的な都市計画事業では、市街地環状線の一部であります栄町高禅寺線の「菜洗橋」架け替えの実施設計に着手してまいります。

温泉津温泉街の「街なみ環境整備」、「公共下水道（雨水）」については、引き続き「公共下水道（汚水）」や「防災施設整備事業」と調整を計りながら進めてまいります。

「空き家対策」については、市内の実態調査を終え、この調査結果を基に、「空き家対策計画」の策定に向け取り組んでまいります。

（生活交通の確保）

次に生活交通の確保についてであります。

市民にとって必要不可欠な生活バス路線の維持確保を図ってまいります。また、公共交通空白地域の解消に向け、地域の特性に応じた移動手段の確保について検討を進めてまいります。

（安全な生活の確保）

次に、防災など安全対策についてであります。

防災行政無線の増設整備については、土砂災害の危険性が高い区域に新たに10局の整備を行い、防災対策に努めてまいります。

また、引き続き自主防災組織の拡充と育成、防災訓練などを通じた防災意識の高揚、啓発に努めるとともに、備蓄物資の充実を進めてまいります。

消防については、近年、質、量ともに高まっている救急ニーズに対応するため、継続的に救急救命士の養成を行い、更なる救命率の向上を図ってまいります。

消防団については、新年度に当市において開催される「島根県消防大会及び消防操法大会」を通じて、消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の更なる充実・発展に努めてまいります。また団員の安全装備品などを計画的に整備し、災害現場における安全管理の強化や円滑な活動の確保を図るとともに、引き続き団員の確保に取り組むなど、地域防災力の充実強化に努めてまいります。